

科目名	音楽		
教員名	小餅谷 哲男		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週 1 回	単位数	2
履修年次	1	学期	2020 年度 後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋音楽の大きな流れの中で、総合芸術とされるオペラはどのように生まれ現在まで発展してきたか、またオペレッタやミュージカルに枝分かれしていったかを理解する。 ・各時代の音楽の様式の特徴を理解する。 ・オペラ歌手の魅力、なぜその声に聴衆は熱狂するのかを理解する。 		
授業概要	<p>オペラはイタリアルネサンス時代に生まれ、それがドイツ、フランスなどヨーロッパに全土に広まり、20世紀には日本にもたどり着いた。オペラはどのように当時の政治と関わりを持ったのか、また時代の変遷を越えて現在まで演奏されている演目の魅力を知る。担当教員がこれまでに主演したオペラ公演やオペラの聴き所などを講義とともに視聴覚機材（出演映像なども含め）を利用し、それぞれの時代の代表作を鑑賞し授業を進める。</p>		
授業計画	<p>第1回 オペラとは 第2回 オペラの誕生：ルネサンスからバロック時代 第3回 ①古典派のオペラ：モーツァルトのオペラ 第4回 ②古典派のオペラ：モーツァルトのオペラ 第5回 モーツァルトの音楽が人間の身体に及ぼす影響 第6回 モーツァルトの人間像の考察① 第7回 モーツァルトの人間像の考察② 第8回 モーツァルトの人間像の考察③ 第9回 古典派のオペラ：ベートーベンのオペラ、同時代のイタリアオペラ 第10回 イタリアのロマン派のオペラ 第11回 オペラ歌手の声の魅力 三大テノール「パパロッチェ、ドミンゴ、カレーラス」 第12回 日本のオペラ：松村禎三「沈黙」① 原作とオペラの対比 第13回 日本のオペラ：松村禎三「沈黙」② 第14回 日本のオペラ：松村禎三「沈黙」③ 第15回 日本のオペラ：松村禎三「沈黙」④ 期末試験</p>		
授業方法	講義、視聴覚機器を使用した音楽鑑賞		
アクティブラーニングの視点	<p>明治時代に日本に西洋音楽が入り、幼稚園初等教育にも取り入れられ現在に至る。総合芸術であるオペラを学び、日本人が感じる西洋音楽とは何か、また心に響く美しさとは何かをお互いに討論し考察し合う。</p>		
授業外学習	授業内で紹介するクラシック音楽を鑑賞する。		
教科書	授業内配布		
参考書	適宜紹介		
評価方法	授業への参加度 50%、試験 50%		
既修条件	なし		
実務経験のある教員による授業			